

科目	単位	時間	履修学年	講師名
実習前研修 (地域の実習)	教科外	12	2	佐藤 真由美
ねらい	地域・在宅看護の対象や社会資源・職種を知り、地域で暮らす人々の生活上のニーズを考える。実習の状況をイメージし、その場に応じた対処ができる力を養う。			
回数	授業内容			
実習 OR 事前課題	1. 実習の概要説明 1) ライフステージにおける様々な社会資源 2) シラバスおよび実習要項、実習記録の書き方の説明 (1)実習期間(2)実習日程(3)実習場所実習グループの発表 3) 各実習場所の概要説明 4) 事前学習課題の提示と提出期限について			個人学習 提出期限： 春期休業明け 8:50
1回目	2. 事前学習をもとに実習場所の特徴・対象についてまとめる。 1) 施設の特徴 2) 対象の特徴と施設利用の目的 3) 行われているケアや看護 4) 何を視点として学習したいか 5) 場所と交通手段の確認 ※パンフレットやネットで調べた内容の <u>パワーポイント発表資料提出</u> ⇒内容の指導⇒修正			演習(グループでまとめる)
2回目	3. 中間発表 1) 各グループの事前学習の発表			提出期限 / ( ) 8:55
3回目	4. 生活の場に訪ねるときの注意点 1) 利用者の生活の場または来所する場、対象とのコミュニケーション 2) 訪問時のマナー 3) 対象と出会ったとき、事業所へ着いたとき、帰りの挨拶			演習 講義・演習 ロールプレイ
4回目	5. 場面を想定した練習 (実習室および在宅実習室) 1) 各実習場所の事例をもとにロールプレイを実施			演習(在宅室)
5回目	①実習先へ行った時②訪問先行った時(対象と接する時) 2) 観察の視点を提示⇒実習記録の書き方を再確認 3) 実習先の現地調査(どちらか1コマで)			
6回目	6. カンファレンスの運営 1) 3日間のカンファレンステーマ(仮)を話し合う 2) カンファレンスの役割決定 3) 基礎看護学実習Ⅱ実習用「カンファレンスの実際」をもとに練習 7. 最終の服装や持ち物の最終確認 8. 実習後の発表会の説明			演習
教科書	ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア(メディカ出版) ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術(メディカ出版)			
評価方法	研修での学びは実習評価に関連する・学習した内容は実習に持参し、活用すること。			
備考				